

もっと 知ろう

みんなの議会



中城村

# 議会だより

題字:中城中学校1年 比嘉つばさ

そうめん流しだよ



vol. **52**

写真  
つはっ子学童クラブ恒例の  
ビーチパーティー  
の様子

## ■ 高齢者叙勲、及び特別叙勲伝達式 ■

6月20日(水)に県庁副知事応接室にて、富川副知事より元中城村議会議員への高齢者叙勲、及び特別叙勲の伝達式が執り行われました。本村の授与者を紹介いたします。



高齢者叙勲 新垣隆永氏(津覇出身)



特別叙勲 (故)伊佐吉元氏(安里出身)

## NewFace

### 議会事務局職員の紹介

4月より議会事務局職員が全員新しくなりました。議会と執行部との連携がスムーズにいくよう頑張っていきますので、よろしくお願い致します。



議事係長  
我謝慎太郎

局長  
新垣親裕

臨時事務職員  
比屋根由美子

## ■ 常任委員会所管事務調査報告書 ■

### 【総務常任委員会】

調査日：平成29年5月2日  
調査の目的：村内保育施設の整備状況及び保育環境、待機児童、保育士不足等の実態を調査し、今後それらの課題解決に取り組むため。

視察、調査対象保育施設：村立吉の浦保育所(当間在)、へいあん福祉会はるゆめ保育園(登又在)、明秀福祉会中城みなみ保育園(南上原在)。

### 常任委員会所見

(1)待機児童数の現状  
待機児童解消に向けた対策が遅々と進まない状況を確認することができた。県内で2番目に高い数値である。

### (2)問題点と課題

人口増により認可園の施設整備を進めてきたが、全体的に問題となっている保育士不足により、園児の受け入れが厳しい。保育士を養成する大学、専門学校等へ人材確保に向けて取り組む。かつ職場の雇用環境充実に向けて改善の余地がある旨を指摘。公的支援制度に向けて研究する必要がある。

### 【文教社会常任委員会】

調査日：平成29年6月27日  
調査の目的：私立幼稚園(認定こども園)の視察および施設管理者との情報交換の実施。

視察、調査対象施設：みなみ幼稚園(南上原在)、C.E.C幼稚園(南上原在)。

### 常任委員会報告

(1)みなみ幼稚園は平成25年に幼保連携型こども園として開園し、4年目を迎え園児373名である。園独自の教育方法で英語、中国語を学ばせており、キャンプキングザーの園児との文化交流をしている。また、乗馬体験を月1回開催し動物との触れ合いや好奇心を大きくむ教育を取り入れている。他方では保育士不足が課題で0歳児を受け入れられない状況があり、打開に向け行政との連携が求められる。

(2)C.E.C幼稚園(フリスチャン教育センター)は平成27年に認定こども園に移行し、3年目を迎え園児141名である。保育士2名体制(1名は英語担当)で日常的に英語を学び、園児の自主性を尊重し様々なカリキュラムで楽しい教育が行われている。設備の関係上0〜1歳児が入園できないため来年度に増築を行い、受け入れをする。保育士不足の問題もあり行政との連携が求められる。

### 【建設常任委員会】

調査日：平成29年5月10日  
調査の目的：本村で生産される農産物・特産品等を活かした加工品の生産の向上、また、農業後継者不足の解消を図っていくため、建設常任委員会で調査を行いました。

(1)調査場所：読谷村地域振興センター視察

この施設の概要として「農業を主体とした六次産業化」、「情報の共有と発信による地域振興」、「農漁商工の連携」という設置目的を実現するため、農業振興を担うJAおきなわゆんた支店や村商工会、村観光協会、村漁業協同組合、情報発信を担うFMよみたん等、各種団体が入居し、また、地元食材を生かした加工室やキッチンスタジオ、企業支援のチャレンジブース等、地域振興を推進する様々な機能を集積した施設でありました。

(2)バイオマス試験研究施設視察  
読谷村は紅イモの産地であります。この研究施設では、紅イモ振興の課題である被害イモの減少と生産向上につなげると同時に被害イモ等を炭化物等に製造し、農地の土壌改良材や新たなバイオマス利用のための試験研究施設でありました。

本村においても産業振興の向上、農業後継者への情報提供や指導等に役立つよう、行政に提言していきたい。

# 第3回定例会に上程された 議案、報告、陳情、決議、意見書

平成29年6月9日～6月16日



## 平成29年度中城村一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ8,594万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ71億7,474万6千円とする。



## 平成29年度中城村防災行政無線機能強化事業施設整備工事請負契約について

平成29年度中城村防災行政無線機能強化事業施設整備工事の請負契約を締結したいので、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の議決を必要とするため、この案を提出するものである。



## 平成28年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

合計: 4億3,113万2,553円

繰越明許費の内訳: 3億2,193万5,440円

総務費: 3億2,050万4,440円 民生費: 359万7千円

農林水産費: 300万円 土木費: 1億260万113円



## 平成28年度土地区画整理事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告

土地区画整理事業費: 7,091万6千円



国民の権利と安心・安全をまもる公務・公共サービスの拡充を求める陳情



「駐留軍関係離職者等臨時措置法」の有効期限延長に関する陳情



国民健康保険都道府県単位化に係る意見書採択についての陳情



国民の権利と安心・安全をまもる公務・公共サービスの拡充を求める意見書



「駐留軍関係離職者等臨時措置法」の有効期限延長に関する意見書



国民健康保険都道府県単位化に係る意見書



米軍嘉手納基地海軍旧駐機場の継続使用及び、外来機暫定配備に対する意見書



米軍嘉手納基地海軍旧駐機場の継続使用及び外来機暫定配備に対する抗議決議

村政を問う！

一般質問

平成29年6月定例議会

※質問者が会議録から要約した  
原稿を編集しています。



大城 常良 議員

津霸小学校、津霸幼稚園の校舎、園舎の補修

議員 津霸小学校、幼稚園の環境整備の観点から小学校の職員室があまりに狭くて、本や教材等が出窓や足元に置かれている状態であり改善する計画はあるのか。さらに幼稚園の園舎も築38年になり老朽化が進行しており天井のペンキが剥がれ、トイレ換気扇からの雨漏り等、補修の予定、計画はあるのか。  
教育総務課長 職員室はスペースが狭い中でテーブルでの対応となつていまして今後、学校側と相談しながらほかの対策、改善を計画したい。また、幼稚園の現状を確認し換気扇については見積もりを取つていきますので順次修繕を行つて行く予定です。  
議員 そのまま放置してはい

けないと思ひますので職員が働きやすい環境をつくり、そして園児が安全に過ごせる環境をつくるために早急に取り組んでいただきたい。

新庁舎建設

議員 現在の進捗状況を伺います。

都市建設課長 当間地内に候補地が決まり「新庁舎建設基本構想」を反映させた検討案を作成し建設検討委員会での検討を行っています。今後、住民からパブリックコメントを募集し平面案を決定する予定です。

議員 新聞に新庁舎説明不足の声ということで載っているが村民から疑問があれば真摯に答えていく、説明責任を十分果たして信頼が得られるような説明会を早期に開催することを強く要望します。

公立幼稚園での2年保育

議員 本村では5歳児を対象とした公立幼稚園の運営をしているが、他市町村では4歳5歳児を合わせた2年保育が多く行われており、本村でも2年保育の計

画はないのか。  
教育総務課長 本村でも2年保育の必要性については議論されています。園舎の老朽化もあり環境整備も関連していただきますので計画的に審議していきたいと思ひます。

議員 2年保育をすることによつて色々な行事にも参加でき集団生活にも慣れてくる。さらに職員との信頼関係も生まれてくると思うので計画的に進めていただきたい。

中城幼稚園の用地返還問題

議員 幼稚園の駐車場及び、グラウンドの返還について村長の所見を伺う。

村長 グラウンドについては小学校の運動場が使えるということ今年度中に幼稚園をどうしますということを教育委員会としっかり協議を重ねてお返事します。  
議員 グラウンドは園児にとつて成長していく上で大変重要でありどうしたら一番いい方向に行くのか十分協議して進めていただきたい。

※他に公共駐車場整備計画の質問がありました。



比嘉 麻乃 議員

私が議員になり平成29年6月で1年になりました。4回の定例会で12項目の一般質問を行い、前向きな答弁もありましたが、未だ検討のままの回答がありますので、その後の進捗状況について再度伺います。

自治会加入促進

議員 平成28年9月の定例会で自治会加入促進について質問したが、その後の本村の取り組みを伺います。  
村長 行政と各自治会は距離感の近さを感じます。自治会加入促進については、当然行政としてしっかりと前向きに取り組んでいきます。

企画課長 現在の本村の取り組みは広報紙で自治会の歴史や活動を紹介し、また、住民生活課窓口で自治会加

入を促すチラシを配布しています。

子ども医療費 病院窓口無料化

議員 平成28年12月定例会で子ども医療費病院窓口無料化について質問したがその後の進捗状況を伺います。  
健康保険課長 国は子ども医療費を窓口無料化した場合、国保の補助金の減額を行つているため、現段階での判断は難しいと考えています。

議員 国保の補助金の減額はいくらか。  
健康保険課長 300万円程度の減額になると予測されます。

高齢者護佐丸バス無料化

議員 全国的に高齢者の運転による交通事故が相次ぐ中、高齢運転者の免許自主返納のきっかけと外出を促すために70歳以上に対し護佐丸バスの運賃無料化を提案したが現在の考えを伺います。  
企画課長 高齢者は一般の

方の半額にあたる一律100円と設定しており、現段階ではこの運賃設定からの変更は予定しておりません。

村民の安心・安全

議員 県道29号線南上原のドラッグモリ付近から琉大側へ横断する人をよく見かけるが、信号機設置はできないか。  
住民生活課長 宜野湾署と相談したが、当箇所はすぐ前後に信号機があるため、設置は困難であると回答を受けております。しかしながら信号機のない箇所での横断は危険なので、設置については宜野湾署と相談していきます。

議員 琉大フェンス側の村道を猛スピードで通過する車が増えているため、「ゆっくり」とか「速度何キロ」と路面標示ができないか。  
住民生活課長 村道竹口線は住宅街にあり、車両への速度抑制対策は必要かと考えます。路面標示は村として可能であるため、協議・検討していきます。

議員 琉大フェンス側の村道を猛スピードで通過する車が増えているため、「ゆっくり」とか「速度何キロ」と路面標示ができないか。  
住民生活課長 村道竹口線は住宅街にあり、車両への速度抑制対策は必要かと考えます。路面標示は村として可能であるため、協議・検討していきます。



金城 章 議員

**役場正職員増と  
待遇改善を**

**議員** 福祉課において子育て支援の取り組みと保育士の待遇、処遇改善の取り組みはどうか。

**福祉課長** 子育て支援は第3子以降保育料無料化事業、病児保育、ひとり親家庭児童クラブ利用助成、ひとり親家庭認可外保育施設利用補助事業等、多子家庭、共働き家庭、ひとり親家庭の支援を充実しています。本年度認可外保育施設への行事費及び研修費を補助して子供たちへの支援を行っています。吉の浦保育所の臨時職員に平成27年度に日当6800円から7200円に改善しております。また今年度は臨時職員から一般非常勤職員と改め、給料を日額制から月額制度、17万2300円に上げてあります。通勤手当

2000円の支給をして任用期間も最長2年から5年へ延長し長期雇用しています。

**議員** 福祉課の非常勤と正職員の割合はどうか。

**福祉課長** 福祉課で現在27名の職員がいます。8名が正職員、19名が臨時、嘱託職員です。吉の浦保育所は保育士19名です。正規職員が7名、非常勤職員が12名となっております。

**議員** 正職員が少なく臨時、非常勤職員が多いが正職員増の考えはあるか。

**総務課長** 本村の人口も増えていることから計画的に職員を増員させる方策を今検討しています。

**村長** 保育士だけでなく役所全体を、今、正職員の数が徐々にではありますけど増やしていくことと保育士増に関しても適宜検討していかないといけない問題とっております。

**新庁舎に救急出張所を**

**議員** 新庁舎建設において救急車の出張所の取り組みの考えはあるか。

**総務課長** 平成29年5月10日付で中城北中城消防組合から中城地域における

出張所建設についての依頼文書が届いております。内容として新庁舎へ出張所建設が可能か協議してほしい旨の依頼でございます。中北消防より本村南側、伊集和宇慶、南浜、北浜、さらに南上原地域には救急車の到着時間が15分程度要することでありあります。本村の村内庁議におきまして、出張所の件について検討することで、今庁議で話し合いを持ちつつあります。

※他に、庁舎建設、中城村にて指定管理制度の在り方、国道329号から県道29号線への東西道路、各字里道問題についての質問がありました。



**一部事務組合  
議会議員の報酬**



仲眞 功浩 議員

**議員** 一部事務組合である、「中城北中城消防組合」、「中城村・北中城村清掃事務組合」の議会議員の報酬は月額制だが、行財政改革や住民負担の面から考えれば年額制に改めるべきと考えるが。

**総務課長** 報酬等については様々な意見があると思っておりますので、報酬等の適正化を検討する場は必要であると考えております。

**議員** 一部事務組合議会議員の報酬が、月額制でなければならぬ理由はあるのか。

**総務課長** 地方自治法におきましては、一部事務組合議会議員の報酬が月額制でなければならぬとの定めはないと認識しております。

域連合や介護保険連合等、広域一部事務組合は年額制を採用し、経費の節減を図っている。本村の一部事務組合についても負担軽減、財政改革の余地はあると考えるが。

**村長** 議員からの提案はもつともだと思えます。まだもうちよつと議論が必要かなと言っているのが本音ですが、これからの議論は必要だと認識しております。

**議員** 議員の月額報酬は各会議で保障されている。一部事務組合の議員になったからといって、さらに報酬の月額保障をする合理的な理由はない。一般住民から見れば、不透明で報酬の二重取りだと言われるゆえんだ。節減額は大きくない(100万〜200万円)かもしれないが、説明責任を果たせるよう改めるべきだ。

**遅すぎる(3周遅れ)  
計画策定**

**議員** 本村の子どもの読書活動推進計画の策定状況はどうなっているのか。

**生涯学習課長** 昨年度末より、部署を決めて取り組み始めております。目標と

しては、年度内もしくは来年度の上半期までには策定したいと考えております。

**議員** 「子どもの読書活動の推進に関する法律」はいつ制定され、それに基づく国、県の子どもの読書活動推進計画の策定状況はどうか。

**生涯学習課長** 法律の制定は平成13年12月で、国、県は第3次まで計画策定がされておりあります。沖繩県は平成26年度に「第3次沖繩県子どもの読書活動推進計画」を策定しております。

**議員** 中城村は15年、3周遅れでようやく第1次計画の策定がスタートしようとしている状況だ。遅すぎる。とにかく、マンパワーを投入してやって頂きたい。





新垣 博正 議員

村道旧県道線、真根川線の交通安全対策

議員 村道伊集・和宇慶旧県道線、真根川線へ日常的に産業用大型車両等が通過し平穏な住居地域が危険にさらされている現状に対し当局がこれまでのような交通安全対策を講じてきたか伺います。

住民生活課長 歩行者へ注意喚起のため「徐行」看板の設置や和宇慶集落の一部に路側帯カラー舗装整備を完了。一方通行、スクールゾーン等の要望が地域からありますがいまだ実現しておりません。西原町境界線から津覇側にかけて交通規制を公安委員会の判断待ちの状況です。西原町産業通り会に対して通行自粛の要請も地域連名で行っております。

新庁舎ロビーへの展示コーナー設置を

議員 本村を代表する著名な方々を敬重しその功績を次世代へ伝え残す意味からも、沖繩初の芥川賞受賞作家の大城立裕氏、プロ野球で活躍された与那嶺要氏、そしてプロボクシング元WBC世界スーパーライト級チャンピオン浜田剛史氏の3氏を讃え、展示を提案するが所見を伺います。

村長 非常に素晴らしい提言で、真剣に必ずできるよりに実現に向けて取り組みます。

総務課長 新庁舎1階部分に約51坪の多目的スペースの配置を計画しており、その一角には行政情報コーナーを想定しておりますが、今後、実施設計の段階で詳細な検討を行い今回提案の展示する資料や情報収集、レイアウトを担う期限付きの担当嘱託職員の配置も考えていきます。

護佐丸歴史資料館の企画展へしまくとぅばを

議員 近年、沖繩の「しまくとぅば」が貴重な言語として認知されて広く使われ推奨されるまでになってきたことを踏まえ企画展においても琉球の古語がヤマト口標記のルビになっている箇所が多くみられ違和感を覚えるが琉球語読みのルビ標記を活用していくべきではないか、考え方を伺います。

生涯学習課長 小学校4年生程度から読めて理解できるようにできるだけの難しい言葉や漢字の使用を避けて記述しています。ルビに関しては沖繩大百科事典や一般的に普及している琉球史の本などを参考にしております。次世代へ正しく継承していく上においても、成果物の原稿執筆でも悩みながら検討しているところです。研究成果を踏まえできるだけ昔ながらの発音を大切に取り入れながら琉球語標記を使うように配慮していきたい。



石原 昌雄 議員

専門職員の配置、職員採用は

議員 毎年定期的に職員採用を実施していますが、専門職員の採用が不十分です。今後の採用計画を伺います。

- ① 今年の採用計画はあるか。
- ② 職務などの範囲ですか。
- ③ 専門職などの資格要件を求めめる部署には、正規職員が配置されているか。
- ④ 定数条例による配置がなされているか。
- ⑤ 人口や市町村規模の類似市町村と比較して、定数は足りているか。
- ⑥ 若者の雇用拡大をする考えはあるか。

総務課長 現段階では一般職並びに保育士、幼稚園教諭、若干名の採用を予定しています。本村の条例上の職員定数は138人です。村長部局の職員を初め、ほとんどの部局で条例上の定数を満たしていません。類似市町村比較では、人口千人当たりの職員数は、北中城村8.11人、与那原町6.77人、本村が5.98人です。若者の雇用拡大ではないが、おおむね35歳以下に採用設定しており、結果的に若者の雇用拡大につながっています。

南上原地区への児童館設置を

議員 資格要件について、教育委員会では社会教育主事が現在空席だがどうですか。

総務課長 人事異動の関係で教育委員会の方に配置されておりませんが、配属あるいは新たな採用を含めて検討したい。

議員 平成29年度において、各課のヒヤリングをしながら人員配置計画をなさるといことなので、ぜひ達成してほしい。

議員 区画整理事業が進み児童生徒が増える中で、放課後の活動の場が必要になります。

① 南上原地区に児童館建設の考えはあるか。

② 場所について検討したこ



とはあるか。

③ 他市町村では、小学校単位に児童館を活用し、地域の支援場所として生かされているがそのような計画はあるか。

村長 村有地が南上原に1か所あり、そこでの建設を検討したことがあります。南小学校からかなりの距離があることで検討の域を脱していません。今後も提案がありましたら真剣に考えていきたい。

福祉課長 南上原地区の人口増加、児童生徒数の状況から、上地区には児童館が必要であると認識しており、今後検討してまいります。



新垣 徳正 議員

教育 行政

議員 新教育委員会制度

（教育長任命に關しては、村長にその任命権がある。）の下、本村の教育長が誕生いたしました。教育行政について、お互いどの様な共通の認識をお持ちか。

村長 私の考え方として

まず、平和教育をしっかりと子どもたちに伝え、行動できる方、情熱を以って子どもたちを導き、子どもたちの将来、未来にしっかりと責任の持てる方と考えをし、任命に至ったという事です。

その私の意をくんで頂いて、承諾を頂き一緒に成って村の子どもたちの未来、将来をしっかりと我々が責任を以って行動していこうと言うお返事を頂いて、今日に至って居ります。

議員 よくわかりました。私も思う所は同じであります。私の考えを少し述べさせて下さい。

現在教育の現場においては、国家国旗法の制定に始まり、最近では、教員評価制度の導入などが指し示すように、国、文科省の監視強化の下、国の施策、方針を強要する教育指導が求められる様な事象が展開され、その過度な干渉により、教師個人の教育活動は制約され、その内心までもが調査される状況が続いています。その中であって、昨今の教育現場では当然教師は自己保身に走り、自らの評価を高める為、一層国の方針につき従う事に日々を費やす、そしてその様な教師は評価され重用される。反面、そうでない教師は、不資格教師のレッテルをばられ、自ら職を辞する者、あるいは追放される形で職場を追われる者等、それはまさにあの戦前の軍国教育が完成していったごとく、近い将来、同じような状況が起こるのではと、大いに危惧する処で有ります。教育が人に及ぼす影響は計りし

れません。特にそれが子どもへの影響を考えた時、推して知るべきです。環境を整えば軍国少年は簡単に出来上がると思うのは過去に於いて皆さん良くご存知のとおりだと思えます。戦後教育の柱にしてきた「教え子を二度と戦場に送らない」の言葉を、全教職員が今一度共通の認識を持って、教壇に立つ事を希望致します。



役場 庁舎建設

議員 先日、都市建設課

より議会に対して庁舎建設配置図の説明がありました。その中で庁舎の正面玄関は北側になっていましたが、ここ沖縄の生活習慣、文化では玄関は南側から西寄り主流ですが、南または西寄りに変更できないか。

村長 詳細については担当課から説明があります。

私は庁舎をつくることで、その周辺、当間、安里地区を中心としたまちづくりで、村全体に関わって行くと思います。庁舎建設だけが目的ではありません。公共施設が集約された下地区での町づくりの起爆剤です。将来の中城像にとって大事な時期にきていると思います。



宮城 重夫 議員

都市建設課長

新庁舎の

役場周辺、また国道329号と村道当間前原線の接点吉の浦運動公園入口付近の道路中拡張で南部国道事務所等関係機関に要請する考えはないか伺います。

都市建設課長

庁舎敷地に隣接する村道吉の浦線、東側の農道も現在の外構計画で庁舎敷地を後退し幅員2メートルの歩道を計画する予定です。当間前原線も現在の歩道を拡幅する予定です。国道入口付近については総合事務局建設部と中部市町村会との懇談会が平成29年5月30日に行われ、村から右折だまり設置を要請致しました。国の回答は、新庁舎移転は把握しており、移転後の交通量調査

等踏まえて検討する。議員 庁舎移転に伴い、新しい庁舎周辺での役場職員の駐車場をどう考えているか。対処策について伺います。

都市建設課長 新庁舎の駐車場計画は公用車40台、思いやり駐車場7台、一般駐車場89台の、合計136台です。職員駐車場は敷地内には計画できません。吉の浦会館横の駐車場は平日ほとんど利用されてなく、新庁舎から徒歩で8分、500メートルの場所、この駐車場の利用を考えています。





伊佐 則勝 議員

**学校防犯システム**

**議員** 学校防犯システム「ツイタもん」の導入に向けての進捗状況は。

**教育総務課長** 津覇小では

取り組みが早く、現在利用開始されています。中城小、中城南小においては保護者への説明と案内文書及び申込書の配布を行い、随時回収を行っています。中城も同様に配布を行っています。回収については、少ない状況とのこと。全体的な利用開始については、夏休み明けの9月から申込書の回収を予定することです。

**待機児童解消**

**議員** 平成29年4月1日時点の待機児童数の8割が0歳から2歳児で占めています。

入所希望者増や保育士不足が主な要因と考えるが、待機児童解消対策は。

**福祉課長** 待機児童

107人の内訳は0歳から2歳児が88人、行政区別では南上原地区84人となっています。待機児童の受け皿として次年度新規認可保育所2ヶ所、定員増増築施設1ヶ所を上地区で開園しますが、0歳から2歳児の定員を増やすよう各施設と調整しています。また、平成30年4月の開園に合うように、保育士を確保するよう協議していきます。

**奥間地内の土砂流出対策**

**議員** 奥間地内の山手側より、5月10日前後の降雨量の影響で隣接する住宅の擁壁まで浸食された土砂流出が発生しました。これから予想される豪雨による土砂災害の危険性があり、未然の土砂災害防止の緊急対策として、資材提供等の支援を要請するが対応について伺う。

**都市建設課長** 奥間自治

会の土地532番地の下方に住宅地があり、のり面保護を行うために、中部土木事務所に資材提供をお願いし、ガードレールを連結利用した施行で土砂流出を止めたい。あくまでも今回は

**土砂崩壊防止対策事業**

**議員** 今回の土砂流出のあった土地については、保安林指定への地権者同意が成された場所であり、十分に事業規模を満たすと想定されるので、再度事業採択を要請するが南部林業事務所との調整について伺う。

**農林水産課長** 南部林業

事務所と現地を確認し、採択要件を満たしているかどうか調整を行っていききたいと思えます。

**奥間喜納原の復旧工事**

**議員** 「森の郷おくま」から南部林業事務所へ提出された復旧防災計画書に基づく復旧工事の経過について伺う。

**農林水産課長** 一部植栽を

行っており、他の工事については、村に里道の加工申請を提出し、許可後各種の工事を行うと県から回答がありました。今後、県と連携をとりながら計画書に従って復興工事を進めていきたいと思っています。

**避難道路の整備及び維持管理**



外間 博則 議員

**議員** 村内の避難道路の維持管理の中で、清掃や草刈り作業は各自治体で行っていますが、本村での対応は。

**都市建設課長** 現在村では6名の草刈り作業員を雇用し、村道、公園等の維持管理を行っている状況であります。避難道路についても定期的に草刈りを行っています。

夏場は草の伸びが早くなるため、利用者が多い場所から優先順位を決め、作業を行っています。

**議員** 避難道路の下の津覇

1392の2番地付近は以前地すべりによる、土砂が流れ込む災害があった場所であり、道路に面する排水が押しつぶされている状況にあります。その対策は。

**村長** 地すべりについてで

ございますけれども、これは避難道路に限らず本村

としましては大変大きな土砂災害も経験しておりますし、議員ご指摘の地すべりが起こっているということであれば、処置等を真剣に取り組むべきものだと思っております。

**都市建設課長** 中部土木事務所に確認したところ、津覇急傾斜地崩壊対策事業については、平成28年6月に完了しています。現在コルゲート排水については対策工事前から傾いていましたが、その排水路の上を抑止杭で地すべり対策を行うことで、コルゲート排水はこれ以上潰れることはないと思われま。その件については、中部土木事務所にも連絡をして調査させていただきます。

**議員** 避難道路付近には多くの住宅があります。また保育園児、小学校生徒の避難訓練を行っています。

安心、安全な環境を望んでいますので維持管理をしっかり行っていただきたいと思えます。

**農業に必要な肥料、農薬、資材等の補助**

**議員** 農業用資材、肥料、農薬の補助は現在、何%の

補助がされているか伺います。

**農林水産課長** 沖縄県農業協同組合及び沖縄県花卉園芸協同組合からは農薬及び出荷資材を購入した際に、農家に対して消費税抜き金額の8%の補助を行っています。

**議員** 現在も含め、毎年高騰している農業用資材、農薬、肥料の補助の引き上げについてJ Aとの協議をしていただきたいと思います。

**農業振興地域整備計画**

**議員** 農業振興地域整備計画の中で、総合見直しがあります。今年度の策定業務の進捗状況を伺います。

**農林水産課長** 沖縄県との予備協議を行った後、事前協議を進め、公告縦覧及び異議申し立てを受け付けた後、本協議を経て10月末を目標に公告を行う予定で業務を進めております。





安里 ヨシ子 議員

沖縄電力の天然ガス

議員 液化天然ガスはクリーンエネルギーとして

村は積極的に推進してまいりました。地域住民からは、安心、安全が確保できるか不安材料が出されま

したが誘致が決定し今日に至っています。平成18年中城村、泊、久場、電力で情報交換を行う事で三者協定が交わされましたが

期限が切れたという事で現在は何も情報はありません。ガスの供給地点として爆発の危険に怯え不安な生活を強いられています。万一の時の連絡体制をどのように考えていますか。

企業立地・観光推進課長 直接地元自治会長に連絡、三者で話し合いを行い問題解決に向け協議する。

生ずる災害がどのような種類のものかどのように避難すれば良いか、地域住民の役割、自治体や警察、消防を含めそれぞれの役割をしっかりと把握し実効性のある訓練をやらないと地域住民は右往左往するばかり。避難訓練の計画は。

企業立地・観光推進課長 今回のところありません。

議員 久場前浜原線も着工され発電所外は様変わりするでしょう。前浜原線より電力側は特定保留となっていて工業地帯が計画されています。国道と前浜原線に挟まれた住民の納得のいく活用をどのように考えていますか。

村長 用途地域は準工業地帯に指定されそこを地区計画をつくって住民の方々の意見を反映させていくのが大前提、その他のいろいろなのは地区計画の中で規制されていく。そして市街化区域に編入になっていく。風俗的なもの、秩序を乱すもの、騒音公害等規制していきます。

都市建設課長 準工業地域は住宅から工場までほとんどの建物が立つ用途、



市街化区域に編入する条件として地区計画の策定が必要になってくる。地域住民の意見をもとに望まない建築物は制限していく。建築基準法68条に基づいて地区計画を村条例で制定していく。

企業立地・観光推進課長

企業活動からの影響や住民からの苦情等について企業として責任を持って真摯に対応すべく義務を負う旨の協定書等の締結等を検討していく。



仲松 正敏 議員

待機児童の実態

議員 本村においては、待機児童数は2015年度が20人、2016年度が86人、2017年度は107人、待機児童数が2015年度から年々増加しているわけですが、増え続けている要因は。

福祉課長 待機児童の増加の要因としては、南上原土地区画整理事業の宅地造成が進捗し、新築件数が増えた点。あと他市町村より子育て世帯の転入が多い点。また、中城村にしましては潜在的待機児童も掘り起こしている点が挙げられると思います。

保育士不足問題への対策は

議員 全国的にも保育士不足が問題となっているが、村内の保育所における

が、村内の保育所における

全体的な保育士の確保状況について、今どのようになっているか。

福祉課長 中城村内の保育所3ヶ所においても、現在、保育士不足が生じています。いろいろな機関にも声をかけて、ハローワークのほうにもお願いはしているが、どの市町村も保育士不足で苦労していると聞いています。また、平成30年4月1日に開園数3園につきましては、専門学校とかに声かけをしまして、4月1日にはぜひ確保するように協議しているところがあります。

教育行政

議員 義務教育は民主的平和的国家、社会の形成者として、必要な国民としての資質を育成することその責務として、全国的に認識しております。将来の中城村の子どもたちが心身ともに健やかに成長できるように教職員の人材育成を初め、教育現場の充実について、教育長の考えは。

議員 義務教育は民主的平和的国家、社会の形成者として、必要な国民としての資質を育成することその責務として、全国的に認識しております。将来の中城村の子どもたちが心身ともに健やかに成長できるように教職員の人材育成を初め、教育現場の充実について、教育長の考えは。

議員 私は人がしか人は育てきれないという事を強く思っています。教職



新垣 善功 議員

職員の資質向上策について

議員 村の活性化、村民の福祉向上を図っていくには職員... 総務課長 職員の資質向上は不可欠と考えております。

人事評価制度導入について

議員 人事評価制度は、地方公務員法第四十条第一項には、「定期的に勤務評価を...」

を講じなければならない」と規定されているが評価制度の導入に向けた進捗状況について伺います。

総務課長 導入に向けて、中部五市町村の合同研修会、職員への説明会を実施し早期導入に向けて取り組んでいるところであります。

議員 来年度からの導入を目指して頑張ってもらいたい。

村育英会について

議員 村育英会の基金状況と活動状況について伺います。

教育総務課長 これまでの実績として百一名の方に総額7461万円余り貸付し返済率は76%です。(基金は3500万円)

議員 貸付については大學生から対象となつて...

村長 農業者育成に悩んでいるところですが、先に調査検討していきたくと考えております。

農業後継者育成施設建設について

議員 村の産業の大黒柱である農業振興の課題は後継者育成でありその解決のための農業者育成施設建設が不可欠と思...

農林水産課長 農業の課題は議員の言う通りで、私達も後継者育成に悩んでいるところですが、先に調査検討していきたくと考えております。

議員 県内の先進地モデルを参考に、一括交付金のある内に事業を推進することを指摘します。

農業者育成の事業体制強化について

議員 農業の盛んな自治体は農業委員会、課の体制が充実しているのが現状です。本村は、兼務ですので農業振興への取り組みが弱く支障をきたしているのではないかと懸念しております。

村長 農業委員会の体制強化については、先の議会でも提案があり積極的に取り組んでいきます。



新垣 貞則 議員

「泊、発電所入り口」から「久場公民館側」の排水路の現状は

議員 「泊、発電所入り口」から「久場公民館側」までの排水路は、あちらこちらにヘドロや土砂の堆積や、木が散乱しています。「排水路の環境をよくするため、ウンボを取り入れて改善する考えは。」



あちらこちらにヘドロや土砂が堆積

都市建設課長 関係自治会から協力を得られるというところでしたら、重機使用料で対応しますが、気になるのは土砂の搬入先です。久場地区・泊地区の地主さんの了解が得られるか心配

などところであります。あとはウンボを入れるか、ヘドロは細かいですからバキュームカーで吸い取る方法もありますが、この道はたくさんの方が通るので、改修できないことには改善できないと思っております。

子供たちの教育環境を整える

議員 各学校のトイレ改修工事の取り組みと。幼稚園の現状と課題は。

教育総務課長 本年度より洋式トイレの工事について予算化されておりますので、夏休み期間中に整備が行えるよう準備していきたくと考えています。また次年度以降についても、継続的に計画を立て、改修工事を行ってまいります。

村長 両幼稚園とも、老朽化が非常に進んでいる現状です。今年度中には結論を出し、方針をしっかりと決めて、場所の問題、財政的な問題、子供達の教育環境をまず第一に考えながら、方針を出していきたい。

吉の浦公園～屋宜地区まで、未整備の海岸整備の取り組みは

議員 「吉の浦公園～屋宜地区まで」約1km海岸を整備したら、吉の浦公園～久場まで片道約6kmの道ができ、この道をたくさんの方が通るので、改修できないことには改善できないと思っております。



吉の浦公園～屋宜まで1Km未整備

村長 企画課長からありましたように可能性がいろいろとあり、海岸がきれいになって、海岸ロードといったようなものができて、非常にさわやかな感じがいいと思っております。議員がおっしゃるように健康増進という意味合いでは、沖繩県は、長寿で考えたときには、40数番目です。そういう意味で沖繩独特という、捉え方で一括交付金の対象になる可能性があるので、しっかりと勉強させていただいて、取り組んでいきたいと思っております。

# 政務調査報告

## 宮崎県綾町を行政視察

《平成29年2月16日(木)》

### ①綾町の自然生態系農業と有機農産物

#### 有機農産物

食の安全性に注目が高まる現代で綾町の有機農業は、全国に先駆けて食の安全を迫及する目的で「自然生態系農業の推進に関する条例」を制定し、化学合成された肥料や農薬の使用を制限し、消費者が求める安全、安心な農産物を生産供給する「綾」ブランドを確立した。

### ②自治公民館制度

綾町では戦後いち早く民主



青年団を結成し、自治公民館制度の一体化のねらいとして、区長は、行政の端末機関であり、行政伝達の手助けをしてきたが、区長を廃止することで、各地区の公民館長は地域の自治に専念し、自治公民館の自主的な運営をされている。

### ③綾町のふるさと納税

現在、全国では自治体間の「寄付金額・返礼品競争」が過熱し、ふるさと納税の本来の主旨が見失われつつあります。そうした中、綾町では、同じような返礼品でも安心して選べる綾町産を目標に満足度を上げ多くの「綾ファン」を獲得し、ふるさと納税を大幅にアップされた。

◆綾町を視察し行政の住民への食育の安全、安心への取り組み方や積極的な行政施策のあり方を学びぜひ中城村でも取り組む必要性を感じた。

## 大阪府池田市学校防犯システムと子育て支援事業の視察

《平成29年3月29日》

平成29年度より、中城村の4小中学校において、子どもたちの安全・安心な登下校をより確実にするために、NPO法人が無償でICタグを利用した学校防犯システム(ツイタもん)を導入しております。

そのシステムの先進地である大阪府池田市での経過と現状の確認、そして本村と同じく日本の子育て支援をめざす池田市の子育て支援事業を参考にし本村の事業へ活かすため研修しました。

の提案で池田市10校すべての小学校へ導入し、保護者からの評判がよくICタグの取得率は93%になっています。

### ●池田小学校訪問

正門と裏門の防犯カメラとICタグセンサーの設置で児童の登下校状況をリアルタイムで把握出来ると学校長からの説明をつけました。

### ●池田市役所訪問

子育て支援事業について各課から説明をつけました。

### ●池田市教育センター訪問

このシステムは池田市長自ら

池田市内にある地元企業の地域貢献を受け、第三子誕生で

新車の無償貸出などの支援が行われていました。その他、オムツを使用する家庭に対しゴミ袋の配布などの支援を行っている事を知りました。本村でも行政と相談しながら出来る支援を考える必要があります。



# 「新庁舎視察研修」



平成29年5月23日に中城村議会議員、事務局、関係部局の職員で三庁舎視察研修を行いました。その概要としまして、北谷町庁舎、八重瀬町庁舎、西原町庁舎を視察しました。例としまして、北谷町庁舎の構造でございますが、地下一階は公文書館書庫、機械室、駐車場となっております。一階～二階は各サービス部署であります。三階は町長室、助役室、企画室等があります。四階は議場、常任委員会室となっております。

本村の、新庁舎建設については、総面積は六七〇〇㎡、四階建ての予定であります。村民の皆様にもスムーズな対応ができ、高齢者や障害のある方々の利便性を配慮した施設になるものと考えます。

## 常任委員長・副委員長実務研修会

とき：平成29年5月11日(木)

ところ：自治会館

講師：沖縄県町村議会議長会事務局長 石垣安秀氏

### 基本的な考え方

\* 地方公共団体は、人口減少社会において合意形成が困難な課題について解決することが期待されている。

\* 住民の福祉の増進に努め、最小の経費で最大の効果を挙げるよう、地方公共団体の事務の適正性の確保の要請が高まる。長、監査委員等、議会、住民が、役割分担の方向を共有しながら、それぞれが有する強みを活かして事務の適正性を確保することが重要。

### 1. 地方自治法等の一部改正

- ① 内部統制に関する方針の策定等
- ② 監査制度の充実強化
- ③ 決算不認定の場合における長から議会等への報告規定の整備
- ④ 地方公共団体の長等の損害賠償責任の見直し等

### 2. 所管事務調査の充実

常任委員会は所管事務について専門的に審査、調査をする機関として位置づけられている。その専門性を発揮するためには、問題のある事項について調査し、対策をまとめ提言し、執行期間に実行を迫る必要があることが、期待されている。

### 3. 所管事務調査の手順

委員会には、当面問題となっている所管事務について積極的に調査し、委員会としての政策(提言)をまとめることが期待されている。

### 題字提供

ありがとうございました!



### 題字募集!

## 「ぎかいだより」

の題字の募集をします

中城村の児童・生徒のみならず、上手も下手も関係ありません! あなたの字のままでいいんです。

お問い合わせは  
中城村議会事務局  
(☎098-895-4318)まで

## 編集後記

### 『伝わる広報を目指して』

毎日暑い日が続いておりますが、村民の皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回の「議会だより」は6月定例会を中心に第52号をお届けします。村行政からの議案、報告、陳情、決議、意見書等をチェックした内容で、一般質問も14名の議員が村の諸課題について質問し解決に向けて提言をし、村民の福祉向上に向けて議論を行いました。

編集委員は、村民が読みやすい、理解しやすい、読み手の立場に立った広報のあり方を図り、村民に伝わる紙面にし、より一層編集技術の研究に努め、行政、村民のみならず共に「村民が主役」の住みたい村、住んで良かった村の広報に取り組みますので、今後とも、議会だより村民の皆様ご意見やアイデアをお寄せ下さい。

新垣貞則



### 議会だより 編集委員